



2008年4～6月期のGDP（2次速報値） ～実質成長率は前期比 - 0.7%へ小幅下方修正～

本日発表された2008年4～6月期の実質GDP（2次速報）は、ほぼ市場の事前予想通り、前期比 - 0.7%（同年率 - 3.0%）と1次速報の同 - 0.6%（同年率 - 2.4%）から下方修正された。名目成長率も、同 - 0.8%と1次速報の同 - 0.7%から下方修正された。GDPデフレーターは前年同期比 - 1.5%となり、1次速報から0.1%ポイント上方修正された。総じて、1次速報から2次速報への修正は小幅であった。

需要項目別の修正状況を見ると、個人消費は前期比 - 0.5%と1次速報と同じだった。住宅投資は同 - 3.5%とわずかに下方修正された。設備投資は、需要サイドの統計である法人企業統計調査の結果などを受けて同 - 0.2%から同 - 0.5%へ下方修正され、緩やかな減少が続いていることが示された。民間在庫の実質GDPに対する前期比寄与度は - 0.0%と1次速報と変わらなかった。政府最終消費は同 - 0.0%へわずかに下方修正され、公共投資は同 - 5.1%へ小幅に上方修正された。輸出及び輸入は、国際収支統計を反映して輸出は下方修正、輸入は上方修正された。以上の結果、内需の前期比寄与度は1次速報の - 0.6%から - 0.7%へ、外需の前期比寄与度は + 0.0%から - 0.1%へそれぞれ下方修正された。

エネルギーや原材料の価格上昇はこのところ一服してきてはいるものの、企業や家計の所得環境は依然として厳しい。また、欧米経済の減速を受けて輸出に弱い動きがみられるなど、内外経済の先行きに対する懸念は強まっている。2次速報の結果からは、国内景気が停滞していることがあらためて確認された。

お問合せ先 調査部 鶴田零 E mail : rei.tsuruta@murc.jp

図表 四半期別GDP成長率（需要項目別）

	2007年				2008年		前期比（%）	
	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	4-6 (1次)	変化幅
実質GDP	0.9	- 0.3	0.2	0.6	0.7	- 0.7	- 0.6	- 0.1
同 (年率)	3.8	- 1.4	1.0	2.4	2.8	- 3.0	- 2.4	- 0.6
同 (前年同期比)	3.2	1.8	1.7	1.6	1.2	0.7	1.0	- 0.3
内需寄与度 (*)	0.6	- 0.5	- 0.3	0.3	0.3	- 0.7	- 0.6	- 0.1
個人消費	0.6	0.3	- 0.0	0.4	0.7	- 0.5	- 0.5	0.0
住宅投資	- 1.8	- 4.3	- 7.3	- 9.8	4.3	- 3.5	- 3.4	- 0.1
設備投資	0.3	- 1.9	0.4	1.0	- 0.1	- 0.5	- 0.2	- 0.3
民間在庫 (*)	0.1	- 0.2	0.0	0.0	- 0.2	- 0.0	- 0.0	0.0
政府最終消費	0.3	0.2	0.1	0.9	- 0.5	- 0.0	0.1	- 0.1
公共投資	3.1	- 2.6	- 2.0	0.2	1.0	- 5.1	- 5.2	0.1
外需寄与度 (*)	0.4	0.1	0.5	0.3	0.4	- 0.1	0.0	- 0.1
輸出	2.8	2.0	2.6	2.6	3.4	- 2.5	- 2.3	- 0.2
輸入	0.5	1.2	- 0.3	0.8	1.2	- 2.6	- 2.8	0.2
名目GDP	0.6	- 0.4	- 0.0	- 0.1	0.2	- 0.8	- 0.7	- 0.1
同 (年率)	2.5	- 1.7	- 0.1	- 0.4	0.6	- 3.3	- 2.7	- 0.6
同 (前年同期比)	2.6	1.3	1.1	0.3	- 0.3	- 0.8	- 0.6	- 0.2
GDPデフレーター (前年同期比)	- 0.6	- 0.5	- 0.6	- 1.3	- 1.5	- 1.5	- 1.6	0.1

(注) 内需寄与度、民間在庫、外需寄与度は実質GDPに対する寄与度
(出所) 内閣府「国民経済計算」